

申請日を記入

平成〇〇年〇〇月〇〇日

守谷市農業委員会会長 殿

<譲受人等>

住所 守谷市〇〇123番地4  
 職業 農業 年齢 50歳

氏名 守谷 耕作 [印]

<譲渡人等>

住所 守谷市〇〇987番地6  
 職業 農業兼会社役員 年齢 78歳

氏名 大柏 収穫 [印]

この申請に	氏名	行政 書士男
係る連絡先	電話番号	0297(45)1111

- 譲受人、譲渡人について記入します
- ・譲受人が共有での申請の場合は持分を記入  
(例 持分2分の1, 持分1/4 等)
  - ・法人の場合は代表者名まで記入
  - ・職業は兼業の場合は兼業の職種も記入

法人は社判  
 印は認めて可  
 委任状と同じ印

下記農地(採草放牧地)について { 所有権、賃借権・使用貸借権 } { 設定・移転 }  
 { その他 ( ) }  
 したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

記 該当する内容に○をします

1 許可を受けようとする土地の所在等

所在				地目		面積 (㎡)	所有者の氏名 又は名称 (現所有者が登記 者と異なる場合)	所有権以外の使用収益権が設定さ れている場合	
市 町 村	大 字	字	地 番	登 記 簿	現 況			権利の種類	権利者の氏名又 は名称
守谷市	〇〇	〇〇	100	田	田	3,500			
守谷市	〇〇	〇〇	200	畑	畑	1,000			
		以下余白							
計	田	3,500 ㎡	畑	1,000 ㎡	採草放牧地	㎡	合計	4,500 ㎡	

全部事項証明書のとおり記入 (現況地  
目は現在の状況を記入)

2 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲受人等事由	譲渡人等事由
農業経営規模拡大のため 農地を買う (借りる) 理由を記入	高齢のため耕作が困難になったため 農地を売る (貸す) 理由を記入

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

該当する箇所○をします

契約の種類	<input checked="" type="radio"/> 売買	<input type="radio"/> 贈与	<input type="radio"/> 賃貸借	<input type="radio"/> 使用貸借	<input type="radio"/> その他 ( )
契約時期	対価(10アール 当たり)	土地の引渡 時期	賃料	賃貸借の 契約期間	水田裏作の場合
〇年〇月	1,000,000円	〇年〇月	年額 円	年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日から 年 月 日まで
水田裏作の作付けに係る事業概要					

契約の内容を記入

4 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の農地（採草放牧地）の状況

		田 (㎡)	畑 (㎡)	樹園地 (㎡)	計 (㎡)	採
所有地	自作地	20,000	5,600		① 25,600	④
	貸付地					
所有地以外	借入地	35,000			② 35,000	⑤
	貸付地					
現在の経営面積					①+② 60,600	④
今回権利を取得しようとする面積					③ 4,500	⑥
権利取得後における経営面積 ※下限面積要件 (5,000 ㎡) を満たさない場合は別紙を添付					①+②+③ 65,100	④+⑤+⑥

「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等以内の親族をいいます

譲受人やその世帯員等が所有や借入等を行っている農地の面積について記入

非耕作地（該当する場合の譲受人やその家族が所有している農地、借りている農地（貸している農地も含む）の内、耕作されていない農地について記入

所在・地番	借入地	地目		面積 (㎡)	状況・理由
		登記簿	現況		

5 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			樹園地	採草放牧地
作付(予定)作物	水稻	野菜	ハウス(イチゴ)	大豆		
権利取得後の面積(㎡)	58,500	3,000	600	3,000		
必要な農作業期間	1月から 12月まで				計	230日

(2) 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の状況及びその他の農作業に従事する者の状況

世帯員等	氏名	年齢	続柄	職業	農作業経験等	農作業に常時従事する期間	
世帯員等	守谷 耕作	50	世帯主	農業	28年	1月～ 12月	計230日
	守谷 野菜美	48	妻	農業	25年	1月～ 12月	計230日
	守谷 耕之助	24	子	会社員兼農業	4年	1月～ 12月	計60日
					年	月～ 月	計 日
					年	月～ 月	計 日
常雇					年	月～ 月	計 日
臨時雇用	年間延日数					日	
農作業に従事する者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間						1.2km 車5分	

世帯員等について記入

(3) 大農機具又は家畜の保有状況

	トラクター	耕運機	田植機	コンバイン	軽トラック	牛	豚	鶏
確保済み	2		1	1	1			
導入予定								
導入のための資金繰り			自己資金	融資	その他( )			

保有若しくは導入予定の農機具等を記入

6 信託の引受け該当有無（該当する場合のみ） 無

7 転貸の有無（転貸する場合のみ 有の場合は別紙を添付） 無

8 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載してください。

申請地は農用地区域内の農地であり、周辺も農地のため、特に影響はありません。

9 その他参考となるべき事項

様式第1-1号(別紙3)

農地所有適格法人以外の法人等の事業等の状況

権利を取得しようとする者が、農地所有適格法人以外の法人等である場合、又は、その者又はその世帯員等が農作業に常時従事しない場合には以下も記載してください。

(留意事項) <農地法第3条第3項第1号関係>

農地法第3条第3項第1号に規定する条件その他適正な利用を確保するための条件が記載されている契約書の写しを添付してください。また、当該契約書には、「賃貸借契約が終了したときは、乙は、その終了の日から〇〇日以内に、甲に対して目的物を原状に復して返還する。乙が原状に復することができないときは、乙は甲に対し、甲が原状に復するために要する費用及び甲に与えた損失に相当する金額を支払う。」、「甲の責めに帰さない事由により賃貸借契約を終了させることとなった場合には、乙は、甲に対し賃借料の〇年分に相当する金額を違約金として支払う。」等を明記することが適当です。

1 地域との役割分担の状況<農地法第3条第3項第2号関係>

地域の農業における他の農業者との役割分担について、具体的にどのような場面でどのような役割分担を担う計画であるかを以下に記載してください。

(例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、農道、水路、ため池等の共同利用施設の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等について記載してください。)

地域での役割の計画を記入します。

2 その法人の業務を執行する役員のうち、その法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事する者の役職名及び氏名並びにその法人の行う耕作又は養畜の事業への従事状況<農地法第3条第3項第3号関係>

※(権利を取得しようとする者が法人である場合のみ記載してください。)

(1) 氏名

(2) 役職名

(3) その者の耕作又は養畜の事業への従事状況

その法人が耕作又は養畜の事業(労務管理や市場開拓等も含む。)を行う期間:年 か月

そのうちその者が当該事業に参画・関与している期間 :年 か月(直近の実績)

耕作又は養畜の事業への従事状況を記入します。 :年 か月(見込み)